



2026. 3. 6

北九州市教職員組合にゅうす



第9回未来に伝える平和祭「シネマカフェ」開催報告①

2月11日(水)、「未来に伝える平和祭」を開催しました。これまで門司のブリックホールや小倉リーセントホテルを会場としてきましたが、今回は八幡西区コムシティでの実施となりました。さまざまな地域で開催し、より多くの方に足を運んでいただきたいという実行委員会の願いからです。今回は「シネマカフェ」と題し、ポップコーンやドリンクを用意し、映画館のような雰囲気の中で気軽に平和について学べる場をめざしました。上映作品は「お坊さまと鉄砲」。ブータンを舞台に、王政から民主制へ移行する時代の中、「鉄砲が二丁いる」という言葉から物語が展開します。初めての選挙を巡る村の分断や葛藤、武器商人の存在などが描かれ、鉄砲が物語の鍵として緊張感を高めます。上映後には人権研究所事務長の吉田さんのお話もあり、撮影秘話など貴重なお話を伺いました。今後も平和の願いを広げる取組を続けていきます。

◆参加者からの感想です。



○このような映画はなかなか見ることがないだろう。執着を捨てなければ平和は手に入らないのだ！！子どもさえ自分のピストルが捨てられたのに…私たち大人は???

○「力による平和」が言われている状態と対極にある「皆が幸せになる世界」が描かれていてあたたかい映画でした。こういう世界をめざしたいと思いました。

○今回の選挙の時と重なり、選挙が国民の意志を反映させるものでない一面を見せつけられました。対立させ、自分たちの意見を押し通すシステムでもあるということを考えさせられた。



○「お坊さまと鉄砲」は、「物事を正さなくてはならない」とは、ということから考えながらみていました。平和を望むなら銃を埋めるという発想——と、カタルシスを感じるラストシーンをみて、「平和」と「選挙」について考えさせられました。タイムリーで



○映画が終わった後に解説もあったので、より内容が分かりました。もう少し若い世代の方の参加が多ければより良いと思います。内容はいろいろ考えさせられることが多く、今の世の中の流れや政治についても関わっていると感じました。何が平和なのか、お金がいっぱいあれば幸せなのかなど考えさせられる場面が多かったと思います。大切なものはしっかりと後世に残し、世の中の状況や変化にも注意しながら、みんなが幸せになることについては変えていけたらいいなと思いました。そういう意味でも若い世代にも見て欲しい映画でした。

○参加者のみなさんが、ポップコーンを選ぶときに子どものようなうれしそうなお顔で選んでいくのが印象的でした。映画は「幸せの形はいろいろだな」と感じさせるものでした。ユーモアの中に大切なことを考えさせられる映画でした。今後も心に残る映画の上映を期待しています。

◆53号に続きます

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！



///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail: jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

